

## 第6回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

日時 : 2017年(平成29年)3月21日(火) 午後1時00分 開会

場所 : 湘南NDビル6階6-1会議室

出席者 : 委員14名(五十音順・敬称略・下線は代理出席)

坏 出穂	伊勢田 実	内海 芳宏	岡村 敏之
川野 達雄	小堤 亮彦	澤田 久美子	杉山 茂
千葉 淳	<u>露木 輝久</u>	西山 幸彦	廣田 和江
細谷 昭二	三上 雅之		

### 次第

- 1 開 会
- 2 成立宣言
- 3 議題
  - (1)平成28年度の取組み状況
  - (2)平成29年度の実施予定施策
  - (3)サイクルアンドバスライド施策の効果
  - (4)レンタサイクル(コミュニティサイクル)

### 配布資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・座席表
- ・協議会資料(パワーポイント)

傍聴者 : 1名





岡村会長 それでは、「3議題 (4)レンタサイクル(コミュニティサイクル)」について、これはいろいろ御意見をいただきたいということです。何でも結構ですので、いろいろ御発言をいただきたいと思います。まずは説明をお願いします。

(4) レンタサイクル(コミュニティサイクル)について説明【省略】

岡村会長 ありがとうございます。なかなかイメージがわからない方もいらっしゃるかもしれませんが、率直に感想や質問を含めていただけるとよいかと思います。いかがでしょうか。

澤田委員 私は、やっと来たなという感じで聞いていました。推進連絡協議会の委員に応募した目的の1つでしたので、これまでは、応募した内容と異なつたかなと恥ずかしく思っていました。レンタサイクルは、日本人だけを対象とするものではありません。江の島は、これからオリンピックが開かれるので、外国の方がたくさんいらっしゃいます。世界でレンタサイクルを導入しているところはたくさんあり、旅行者が利用して、好きなところを回るというのを、フランスなど、いろいろなところでやっています。

私は困った趣味がありまして、お金もないのに海外旅行が好きなのです。それでよくいろいろなところに行くのですが、昨年10月に行った北欧のコペンハーゲンとか、ノルウェー、スウェーデンにもレンタサイクルがありまして、時期的に寒かったので自転車は見られなかったのですが、コペンハーゲンは電動自転車のレンタルが可能なのです。それで、料金もすごく安い。北欧は税金がとても高いのですけれども、自転車はすごくコストを抑えて、旅行者が行ってもクレジットを使うことができます。せっかくいいレンタサイクルが発案されたので、私は、オリンピックを目指して外人の方がいらしても、自由に日本のいいところを知っていただきたいと思います。先ほどお話がありましたが、江の島だけだったら本当にちょっとで終わってしまいますので、鎌倉のいいところとか、横須賀のいいところを自由に行ってほしいと思っています。

パリは高級レンタルサイクルがあるので、調べてきたものを読ませていただきます。

365日24時間貸し出し可能な公共レンタルサイクル。返却自由。市内各所に300メートルごとに約1,800カ所の駐輪場があります。値段もとても安くて、1日24時間で1.7ユーロ、7日間で8ユーロなので、1,000円とか、そのくらいだと思うのですが、これもクレジットカードのみで使えます。レンタル料が30分以内の利用は無料ということですので、30分以内ですと、無料で利用できてしまうということらしいのです。ですので、1日1ユーロくらいでうまい方は回れるということなのです。パリとか、オランダは行ったことがないのですが、オランダもレンタルサイクルがすごく盛んです。うちの息子がパリに住んでいますので、今日聞きましたら、前は自転車を通学に使っていたのですが、パリでは使ったことがないと言われたのです。なぜかと聞いてみたら、運転がすごく荒くて、怖いというのと、あと、道路が真っ直ぐな道路というより、石畳式というのですか、それでちょっと怖いと言うのです。世界はレンタルサイクルが身近に感じられますので、藤沢だけではなく、大きな視野で、こういうよいレンタルサイクルを外国の方がたくさん来ても自由に使えるようになればよいと思います。車ですと国際免許が必要ですので。

もう1つ、日本は電動自転車が最高にすばらしいというのがありますので、電動自転車をレンタルサイクルにすれば、外国の人が日本に来たときに、日本の電動自転車はすごいと口コミでどんどん広がっていくと思います。ウォシュレットみたく、電動自転車は日本の文化だと思うぐらいにすばらしい宣伝効果があるのではないかと思います。話は飛躍してしまいましたが、私はそのぐらいの大きな夢で、レンタルサイクルを取り組んでいただきたいと思います。

岡村会長 ありがとうございます。関係してでも、ほかでもいいですが、何かございますか。

千葉委員 まずお聞きしたいのが、どういう方を対象としてこれをやられるのかということですが、観光に来られた方を対象にやろうとしているのか、それとも普通の市民の方をイメージされているのか。あともう1点、ここのコミュニティサイクルとレンタサイクルの違いが、サイクルポートの数で分けているのか、そこが分からないところがあって。横浜とかでも乗り降り自由な形をやっていて、評判だという話をよく聞いていますが、あれは観光客の方をメインとしてやられているのではないかと思うのです。たまたま絵を見させていただくと、公共施設が入ってくるとか、例えば観光施設間を、先ほど言われたように、江の島と鎌倉をそういう自転車で行くとか、そういうことでいろいろなことがあることはいいと思うのですが、まず、誰が対象で、そこでレンタサイクルとコミュニティサイクルの違いが分からないのです。私的には、横浜でかなり成功されているような話を聞いています。先ほど言ったように、電動自転車を借りた場所ではない場所に返して、いろいろな形で回遊できるというのはすごくいいと思います。そういうことで、先ほどの件についてお聞きしたいと思います。

事務局(小泉) 今回、御意見をいただきたいということで、仕組みのほうは後でお話しするとしまして、対象としては、どういう仕組みを使っていくのか、あるいは何を目的としていくのかということで対象は変わってくると思うのですが、コミュニティサイクルにしても、レンタサイクルにしても、1つの事業になりますので、行政が一部負担するにしても、民間がやるにしても、利用の料金で成り立つ事業の採算性というところでは必要になってきます。当然、観光客相手であれば、土日、休みなどの観光シーズンになってきますので、対象としては、常時、ウィークデーも週末も使えるようなエリアとか、広域的な中でしていくのが本当は望ましいところです。この場で御意見をいただいて、例えば鎌倉市と茅ヶ崎市、藤沢市と3市でやるのであれば、広域的なもの、面的な広がりが望ましいというところでは、コミュニティサイクルというお話をしましたが、そうであれば、ポートもそれだけたくさん設けることもできますので、コミュニティサイクルがいいのではないですかと、それに対してどういう課題や問題点がありますというような御意見もまたいただければと思っております。今この場で藤沢市が誰を対象にやっていくというところは、まだ決まったものはプランはできていないものですから、そこもどういうエリア、誰を対象にしていく、どういう事業主体がやっていくというところは、こういう御意見をいただきながら、導入する、しないを含めまして、今後、検討の材料にしていきたいと考えています。

千葉委員 先ほどお聞きしたのは、例えば藤沢市民の方を対象にするのであれば、藤沢市は公共交通はなかなか発達していると思っていて、また、皆さんが自転車を持たれているという感覚を持っています。今よくカーシェアリングがありますが、あれは自動車を持たない人たちがそのような形でやると思うのですが、どちらかということ、自転車は個人の方が持たれていることになりますので、市民の方が実際にいろいろなところで乗り降りをされるのかどうかというのは、どちらかということ、自分の発想ですが、持っている自転車があればそれで動くのかということがあります。したがって、藤沢市は観光が発達していて、外国人もいっぱい来られていますので、対象がそういう方たちに対しての観光のイメージからのアプローチをされていて、それでいろいろなところで乗り捨てできるような形をすれば、そういうお金とかもとれるのではないかと思うのですが、市民の方が実際お金を出して、このような形で利用をするのかとなると、まずはその対象が必要ではないかというのが、あくまでも個人的な意見です。

澤田委員 私も千葉委員の意見に賛成です。レンタサイクルと言ったから、私は確実に観光者を対象にと思ったのですね。と申しますのは、湘南マラソンのお手伝いがありまして、うちのほうは、善行とか大越地区なのですが、皆さん自転車で行って、それでボランティアをするのです。ですので、わざわざ小田急に乗りかえて、自転車を借りて、そこら辺に行くということは、考えてもそんなにはないと思いますので、私はレンタサイクルだったら、観光の人にさせていただいたほうがいいのではないかと思います。あと横浜で成功したというのは、私はそんなにたくさんは見えていないのですが、MM（みなとみらい）のところに貸し出しの自転車があったのです。それは古い自転車で、乗り捨てられた自転車をきれいにして貸すというので、それも観光の人が借りて、1時間幾らとか、とても安く貸していましたので、やはりレンタサイクルを住民にするというのは、ちょっと発想的に、こういう言い方をしたら変ですが、お役所だなという感じがしました。もうちょっと夢があるような、観光の人のためとか、外国人のためとか、そういうことも考えていただけたらいいなと私は思います。

三上委員 利用者の考え方なのですが、よく成功事例で、MMや川越市が言われます。その内容を見てみると、例えば川越だと観光がもてはやされているところなのですが、そこで内容を見ると、平日の利用として市役所に行く、駅と市役所をつなぐ、そういった機能を持って利用されている面もあるということと、あと、業務です。MMだといろいろな会社もありますので、そういった業務利用も前提にしているという複合的な利用がされているケースが1つあって、その辺がある程度持続性がありそうだなというところが見えてきたのかという気もするのです。レンタサイクルとしての部分で捉える、コミュニティサイクルでもいいのですが、藤沢の江の島という捉え方をすると、委員おっしゃるとおり、観光という面が非常に要素が高くて、逆にそれ以外の利用はなかなかないのかと思っています。いろいろな発想というのでしょうか、観光、又はそれ以外の使い方がないのか、そういったものも探っていくと、今の世の中のコミュニティサイクルの事例を見ても、なかなか持続性がないものも実はあるということと、かなりの高額な負担を自治体がして、継続しているというケースもありますので、その辺も含めて、皆さん、自転車政策、日々の自転車利用を含めても、何らかの発想等をいただければ非常に参考になるなと思っています。

小堤委員 藤沢警察署交通課の小堤と申します。今後の検討材料の1つにさせていただきたいのですが、外国人観光客の利用を考えた上でのことなのですが、この方たちに自転車に乗っていただくのは結構ですが、日本の道路交通法を理解していただかないと、後々に大変なことになるかなと思ひまして、交通事故が発生した場合、加害者になる場合もあれば、被害者になる場合もありますので、その辺をひとつ検討していただきたいと思います。

杉山委員 杉山です。先ほどから澤田委員、千葉委員、三上委員、小堤委員の御意見を聞かせていただいて、非常に参考になったのですが、できたら、先ほど導入した自治体もあるように聞いておりましたが、87都市のプラスマイナスとか、中には途中でリタイアした事例があるのか、次回でも結構ですので、お教えいただければ参考になると思います。

それから、いずれにしても、自転車は便利で健康的であることは非常によくわかっているわけですので、これは観光客用であろうが、地元の人用であろうが、あるいはレンタサイクルでもコミュニティサイクルでも結構なのですが、こういった仕組みをぜひ導入していただきたいと思ひます。

それから、費用の点ですが、アメリカではライドシェアというのですか、分担して、民間の余っている資産を提供、自転車も含めて、公共に資するという思想があるようですが、そういったキャンペーンもしながら、採算ベースに一遍に乗せるのは難しいとしても、民間企業のPRを目的とした協賛も入れていただいて、若干自治体の負担が出るとは思いますが、中長期的には活性化とか、人口増とか、いろいろなメリットがあると思いますので、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

それから、レンタサイクルとコミュニティサイクル、ばらばらに検討すると非常にわかりにくくなります。単純に言えば、レンタサイクルの発展系がコミュニティサイクルと理解してよろしいのでしょうか。そうすると、コミュニティサイクルを検討しておけば、当面のステップとして、レンタサイクルに近い初歩的なところを試行錯誤して、最終的にはコミュニティサイクルに持っていくというような方向性もリードいただければありがたいと思います。

坏委員 レンタサイクルとコミュニティサイクル、私も定義がはっきりわかりづらいところなのですが、市をまたいで鎌倉市とか茅ヶ崎市とおっしゃられていましたが、道路は県のところが多いですよ。車道と混在型のところ、走る道路のことばかりなのですが、まだまだ自転車を利用しやすい道路環境はないですね。サイクリングコースもやっと大和からずっとつながっているところがあるのですが、結構傷んでいて、路面が荒れているので、雑草も生え放題で、怖かったりするのです。きちんと道路が整備されていないと、幾らポートをつくって、いい自転車を用意しても、日本の道路は路面がすごくきれいで、外国の道路に比べたら、砂利道みたいなアスファルトが多いので、石畳とか、道路はすごくきれいなのですが、道交法とかが先ほど出ていたのですが、その辺が安心して走れるところが私はイメージできないのです。観光地からでもそういうところが先にやっていただけたら、そこはすごくうれしいと思いますので、対象が観光地で、こんないいことができたんだというのが味わえたら、その先の発展、イメージもしやすいと思います。今、道路のことで、どこが走れるんだろうというのが全然わからない感じです。意見です。

岡村会長 私から、検討のお願いという感じで言います。まず1つ目、皆さんからいただいているとおりで、コミュニティサイクルかレンタサイクルかというのは、市が行う事業としてはどちらにするかすごく違うので、やはりそれは目的その他で決めていくのが、議論はしやすいのかなという気はします。44ページにちゃんと書いてあって、「コミュニティサイクルとは」で、高密度だということと、いつでも貸し出し、返却可能、短時間・短距離と書いてある。ここに書いていませんが、加えて、片道利用なんでしょうね。なので、1時間とか、そういう時間でじっくり借りるというのであれば、わざわざこんな面倒くさいことをする必要はない。5分10分行って、そこで返しておしまいみたいな移動がたくさんその地域の中である、至るところである、そんなところに人を配置できないので、そうしたら無人でやりましょう、ただし、自転車1台の値段は10万円とか20万円するのでしょうか高いらしいです。だいぶ下がってきたいらしいですが。レンタサイクルはおそらく借りる場所、返す場所は大体決まっているよねと。せいぜい両手で数えられる程度で、そこからいろいろなところに半日とか数時間借りるのだったら、多分こういう形のほうが何かとやりやすいのかなと。そうすると、これは普通の自転車をきちんと整備しておいて、ただ、置き場所とか、管理の人を置かなければいけないですが、両手で数えられるぐらいの箇所だったら、人を置いておくのは大したことないので。それから、観光だと、ピークに合わせてたくさん自転車を用意しておいて、平日は倉庫にしまっておけばいいので、そんなお金もかからな

